

はじめに

九州大学は、福岡医科大学(1903年設立)と工科大学とからなる九州帝国大学として、1911年に創設された。創設当時から、新しい研究成果を生み出す学風を維持し、多方面に通じた知識人となること等を主眼として、創造性に富み人間性豊かな人材の育成に努め、優秀な人材を多数輩出してきた。それとともに、中核的な研究・教育拠点として、わが国最高の大学を目指し、切磋琢磨しながら、世界に冠たる優れた研究業績を積み重ねている。

21世紀は高度知識社会の時代といわれており、科学技術、学術文化の飛躍的発展と次代を担う優れた研究者や高度専門職業人の育成が強く求められている。九州大学は、半世紀近く稼働してきたわが国の高等教育システムの硬直化がもたらした諸課題を正面からとらえ、新しいシステムづくりを模索しながら、時代の潮流の先陣をきるべく、大学院教育の飛躍的充実をめざす大学改革を進めている。

九州大学で蓄積された科学技術や学術文化、多様な資料や施設などの開放を通じて、地域社会との交流を深めることも強く求められており、大学改革によって国際的・先端的学術拠点としての大学の構築を進めるとともに、それに相応しい研究・教育施設の整備、新しいスタイルのキャンパス

生活を実現するため、この度、福岡市西区元岡・桑原地区、志摩町及び原市に新天地を求め、新キャンパスを建設するものである。

新キャンパス用地は、百万都市福岡の西方に位置すると同時に、悠久の歴史と自然に恵まれた環境にある。九州大学は、大学改革による新しい組織づくりと新キャンパス建設をほぼ同時期に推進できる千載一遇の機会を得て、恵まれた環境のもとに、21世紀の新しい大学の歴史と伝統を築き、世界的レベルの知の活動を展開していくことが大いに期待されるのである。

九州大学は、これまで新キャンパス計画に関して学内で審議し、将来計画小委員会です承された内容を「新キャンパスマスタープランの基本的考え方」としてまとめ、これをふまえて、1999年12月より新キャンパス・マスタープランの検討を進めてきた。1年余に及ぶ新キャンパス・マスタープラン策定プロジェクトチーム、同策定コアチーム、新キャンパス計画専門委員会、将来計画小委員会、そして関係各位の精力的な検討をもとに、「九州大学 新キャンパス・マスタープラン2001」をここに提示する。

新キャンパス建設に向けて一層のご理解とご協力をお願いしたい。

2001年3月

九州大学